

平成 30 年度 新体力テストの結果について

練馬区立石神井西小学校

校 長 山 口 義 一

今年度実施しました新体力テストの結果をお知らせ致します。実施した種目は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」です。この結果を参考にし、普段の生活や運動習慣の見直しに役立ててほしいと思います。

		1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	本校	9.1	8.4	<u>10.5</u>	<u>9.6</u>	<u>12.3</u>	12.3	14.6	14.0	<u>15.6</u>	<u>15.6</u>	<u>18.9</u>	<u>18.8</u>
	都平均	9.1	8.4	10.8	10.2	12.7	11.9	14.6	13.8	16.6	16.2	19.4	19.2
上体起こし (回)	本校	<u>10.6</u>	<u>10.5</u>	<u>13.7</u>	<u>13.0</u>	<u>14.9</u>	<u>14.6</u>	19.1	<u>16.5</u>	21.0	<u>18.9</u>	<u>21.2</u>	<u>19.7</u>
	都平均	11.2	10.9	14.2	13.7	16.3	15.7	18.5	17.9	20.2	19.4	22.1	20.8
長座体前屈 (cm)	本校	<u>22.9</u>	<u>25.3</u>	<u>23.8</u>	<u>26.2</u>	<u>28.2</u>	<u>30.1</u>	<u>26.3</u>	<u>29.8</u>	<u>31.0</u>	<u>34.3</u>	<u>31.0</u>	<u>36.4</u>
	都平均	25.9	28.5	27.5	30.8	29.7	33.3	31.4	35.6	33.6	38.2	35.8	41.2
反復横跳び (回)	本校	28.2	26.8	<u>30.3</u>	<u>27.9</u>	<u>32.1</u>	<u>30.3</u>	<u>37.0</u>	<u>35.0</u>	42.3	<u>38.6</u>	<u>42.0</u>	<u>40.3</u>
	都平均	27.0	25.9	30.9	29.6	34.6	32.8	38.7	37.0	42.2	40.5	45.4	43.3
20mシャトルラン (回)	本校	18.5	<u>13.4</u>	<u>24.8</u>	<u>18.6</u>	<u>30.1</u>	<u>21.1</u>	<u>41.2</u>	<u>30.8</u>	57.8	40.8	<u>51.9</u>	<u>45.4</u>
	都平均	17.7	14.5	27.6	20.9	36.0	26.6	44.4	33.6	51.3	40.4	59.0	46.4
50m走 (秒)	本校	<u>11.7</u>	<u>12.1</u>	10.7	11.1	10.1	10.5	9.4	9.5	9.1	9.5	9.0	<u>9.4</u>
	都平均	11.4	11.8	10.5	10.9	10.0	10.3	9.6	9.9	9.2	9.5	8.8	9.1
立ち幅跳び (cm)	本校	123.6	118.6	130.7	120.6	140.9	132.6	146.3	136.4	158.1	145.8	165.2	<u>152.1</u>
	都平均	112.5	104.7	124.0	115.9	134.7	126.6	143.8	136.5	152.4	146.0	163.7	155.6
ソフトボール投げ (m)	本校	<u>7.2</u>	<u>4.7</u>	<u>10.6</u>	7.0	<u>12.8</u>	9.2	<u>16.2</u>	<u>10.2</u>	<u>19.2</u>	13.1	<u>21.4</u>	15.2
	都平均	7.6	5.2	11.0	7.0	14.7	8.9	18.1	10.9	21.4	12.9	25.0	14.8

※ 太字は都平均を上回っている記録 斜体に下線は都平均を0、3よりも下回っている記録

学年	実施結果
1年	男女共に東京都平均を下回る種目が多くなっています。測定種目の中では、男女共に「反復横跳び」「立ち幅跳び」の平均は東京都を上回っていますが、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」が特に低い傾向にあります。 実施結果から「敏捷性」「瞬発力」に優れ、「投」「柔軟性」「走」に課題があることが明らかになりました。
2年	男女共に、東京都平均を下回る種目が多くなっています。測定種目の中では、「立ち幅跳び」が男女共に平均を上回っていますが、「20mシャトルラン」「長座体前屈」が低い傾向にあります。 実施結果から「瞬発力」に優れ、「全身持久力」「柔軟性」に課題があることが明らかになりました。
3年	男女の「立ち幅跳び」、女子の「握力」「ソフトボール投げ」を除いて、全ての種目で東京都平均を下回っています。測定種目の中では、男女共に、「反復横跳び」「長座体前屈」の平均が低い傾向にあります。 実施結果から「瞬発力」に優れ、「敏捷性」「柔軟性」に課題があることが明らかになりました。
4年	男女共に、東京都平均を下回る種目が多くなっています。測定種目の中では、男女共に「50m走」、女子の「握力」、男子の「上体起こし」「立ち幅跳び」が平均を上回っていますが、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」が特に低い傾向にあります。 実施結果から「走」に優れ、「柔軟性」「投」に課題があることが明らかになりました。
5年	男子は全種目の半数以上が東京都平均を上回っています。女子は東京都平均を下回る種目がやや多くなっています。測定種目の中では、男女共に「20mシャトルラン」が平均を上回っていますが、男女共に「握力」「長座体前屈」が低い傾向にあります。 実施結果から「全身持久力」「走」に優れ、「筋力」「柔軟性」に課題があることが明らかになりました。
6年	男子の「立ち幅跳び」、女子の「ソフトボール投げ」を除いて、全ての種目で東京都平均を下回っています。測定種目の中では男子は、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」、女子は「長座体前屈」「反復横跳び」が特に低い傾向にあります。 実施結果から「瞬発力」に優れ、「柔軟性」「敏捷性」に課題があることが明らかになりました。
全体	全体的に東京都平均よりも低い傾向にあります。 実施結果から石神井西小学校の児童は、「長座体前屈」「ソフトボール投げ」「反復横跳び」が平均を下回ることが多く、「柔軟性」「投」「敏捷性」に課題があることが明らかになりました。

来年度に向けて

【長座体前屈】

体の柔軟性を計測する種目です。学校では、体育の準備運動にストレッチを多く取り入れ、体ほぐしの運動の指導を改善して参ります。ご家庭でも、お風呂上がりなど継続的にストレッチなどに取り組みせてみて下さい。

【ソフトボール投げ】【反復横跳び】

投力・敏捷性を計測する種目です。投力は体全体を使う動作であり、ボールを投げる運動を多く取り入れることで向上します。体育の授業では、ボール運動の指導を重点的に行い、バトンスローなどの補助運動に取り組みます。また、敏捷性はリズム遊びや縄跳び、鬼遊びなどに取り組むことで向上します。体作り運動の指導改善や中休みの外遊びを励行して参ります。ぜひご家庭でも、キャッチボールや公園で一緒に縄跳び等で遊ぶなど、児童の運動能力向上に取り組んでみて下さい。

(家庭数配布)
平成 30 年度 学力調査結果 (5 年生・6 年生) のお知らせ

平成 31 年 1 月 16 日

練馬区立石神井西小学校
校長 山口 義一

平成 30 年度実施の「全国学力・学習状況調査」(6 年生)・「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」(5 年生) の結果についてお知らせします。

6 年生 全国学力・学習状況調査 4 月 17 日実施

【国語】 A : 主として知識を問うもの B : 主として活用力を問うもの

	話す・聞く能力		書く能力		読む能力		言語についての知識・理解・技能		国語全体	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
本校	94.0	64.7	80.6	47.5	79.1	57.5	76.1		78	59
東京都	92.6	66.8	77.9	47.1	76.5	52.1	69.9		74	57
全国	90.8	64.6	73.8	45.6	74.0	50.8	67.0		70.7	54.7

(%)

【算数】 A : 主として知識を問うもの B : 主として活用力を問うもの

	数学的な考え方		数量や図形についての技能		数量や図形についての知識・理解		算数全体	
	A	B	A	B	A	B	A	B
本校		55.9	68.7		68.0	88.1	68	59
東京都		52.8	67.5		67.2	76.8	67	55
全国		49.2	63.0		63.8	71.7	63.5	51.5

(%)

【理科】

	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	理科全体
本校	62.6	88.1	79.9	68
東京都	56.5	72.6	78.5	62
全国	54.1	71.1	81.5	60.3

(%)

【考察と改善策】

国語 全体的に、全国・東京都の平均を上回りました。反面、B : 「主として活用力を問う」の「話す・聞く能力」が、東京都の平均よりも 2.1% 下回りました。話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどの活動を増やして考えをまとめる能力を高めていく取り組みをしていきます。A : 「主として知識を問う」調査では、主語と述語の関係に注意して文を正しく書き直す問題の正答率が低いので、どこをどのように直せばよいのか丁寧に指導し改善を図ります。

算数 算数においては全ての領域において、全国の平均値を超える結果となっています。問題別に見ると、「こみぐあい」「円周率」「百分率」など、割合に関する問題の正答率が低いので、数量の関係を図を用いて表す指導を通して、理解を深めていきます。

理科 「科学的な思考・表現」と「観察・実験の技能」が全国と東京都の平均値を上回る結果となりました。理科全体を見ると、東京都の平均値よりも 6% も上回っていること分かります。「自然事象についての知識・理解」が全国平均値よりも 2.4% 下回ったのは、「関節」と書くとき、「間接」のように表記上の誤りが 11.9% あったため、「かんせつ」という用語は理解していると考え、全国平均を上回ります。(他の知識・理解を問う問題は、都・全国平均を上回っています。)

5 年生 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査 7 月5 日実施

【A 教科の内容】

教科		関心・意欲・態度	思考・判断・表現 (話す・聞く)	技能 (書く)	知識・理解 (言語)	読む	A全体
国語	本校	99.1	91.7	46.4	65.6	84.5	75.2
	東京都平均	93.8	80.9	39.6	53.3	74.1	65.0
社会	本校	87.5	78.0	84.3	64.9		78.8
	東京都平均	87.4	71.6	77.7	60.9		73.5
算数	本校	95.5	51.5	76.2	61.1		68.8
	東京都平均	85.0	38.1	64.5	52.9		57.5
理科	本校	92.9	65.4	80.4	81.2		77.0
	東京都平均	91.0	60.7	64.0	78.4		70.8

(%)

【B 読み解く力に関する内容】

		取り出す力	読み取る力	解決する力	B全体
国語	本校	78.6	76.8	64.3	73.2
	東京都平均	71.2	68.4	65.2	68.3
社会	本校	83.9	74.1	72.3	76.8
	東京都平均	70.6	52.2	51.6	58.1
算数	本校	69.6	29.5	35.7	44.9
	東京都平均	52.0	21.4	20.6	31.3
理科	本校	80.4	79.5	62.5	74.1
	東京都平均	71.2	70.9	58.0	66.7

(%)

【考察と改善策】

国語 A「教科の内容」 B「読み解く力に関する内容」共に東京都の平均を大きく上回っています。しかし、Bの「解決する力」が都よりも0.9%下回りました。複数の資料から内容を関連付けて読み取り、自分の考えをまとめる学習の充実を図っていきます。

社会 A「教科の内容」 B「読み解く力に関する内容」共に東京都の平均を大きく上回っていますが、読み取って解決する力が、都と共に若干低いことが分かります。複数の資料から読み取った情報を関連付け、考えをまとめる指導の充実を図っていきます。

算数 A「教科の内容」 B「読み解く力に関する内容」共に東京都の平均を大きく上回っています。小数の計算、分数の意味など基礎的な知識・技能について課題が見られたので、さらに指導方法を改善し、定着を図っていきます。

理科 A「教科の内容」 B「読み解く力に関する内容」共に東京都の平均を大きく上回っています。「科学的な思考・表現」に関する問題の正答率が低い傾向にあります。今後も授業の中で根拠を明らかにして考察をする力を身に付けさせられるように継続して指導していきます。

※ A「教科の内容」では、社会と理科の「関心・意欲・態度」について、都平均との有意差はあまり見られませんでした。国語と算数については有意差が見られ、本校の児童の素晴らしさが確認できます。